

君と一緒に歩くのが

作詞・作曲：ペップ・リャド

何もかも変わってしまった
朝の日差しも
共に暮らした家に
変わらずに咲き誇る花さえも

君がいない今
生きていると感ずることができない
パンも蜜も水も
変わらずに吸い続ける空気さえも

君と一緒に歩くのが
君と一緒に歩くのが好きだった
行く先がどこであろうが
そんなのはどうでも良かった

君と一緒に歩くのが
いつまでも続くと浮かれながら
行く先がどこかは
運にまかせながら

さようなら愛しい人
君に出会えて良かった
ありがとう僕の恋人、僕の友達
旅の相棒

何もかも変わってしまった
夏の光の下の昼寝も
電車の旅も、船の旅も、車の旅も
変わらずに聴き続ける音楽さえも

君がいない今

何もかもつらく感じる

町を歩くのも

バルでコーヒーを飲むのも

友達と話をすることさえも